

令和 2 年度

司法書士総合研究所 成果集

日本司法書士会連合会
司法書士総合研究所

令和2年度司法書士総合研究所成果集について

司法書士総合研究所 所長 船橋 幹男

令和2年度の司法書士総合研究所（以下、「総研」という）は7つの研究部会と1つのプロジェクトチーム及び14名の登録研究員により構成し、それぞれが個別テーマの研究を行なっている。登録研究員の内訳は令和元年度から継続する研究員7名と令和2年度の新規研究員の7名である。

各研究部会及び登録研究員は隔年開催する司法書士総合研究所研究発表大会（以下、「総研大会」という）において研究成果を発表することを目的に研究を継続するため、成果の発表は隔年とならざるを得ない。したがって、本成果集の研究成果は最大で2年に亘るものがある一方、令和2年度に採用された登録研究員については1年以内の研究によるものもある。

すべての研究成果を総研大会の場のみで発表することは困難であることから、一部は「会報THINK」や民事法研究会発刊の「市民と法」の誌面をお借りして発表しているが、それでも網羅しきれない部分もあるので、この「成果集」としてすべてを記録に残すこととしている。

司法書士は法律実務家であって研究者ではないが、法律実務家としての観点から業務に関連する事象を調査・研究し、その結果を研究者はじめ社会に開示していくことも必要であり、且つ法律実務家として重要な役割でもある。

その意味では研究成果を単に蓄積するだけではなく、会員はもとより外部に開示することも積極的に行うべきではないだろうか。今後は冊子として残すだけでなく、Webサイトなどのデジタル媒体にも可能な限り登載し、多くの人々の目に留まるような方策も実施したいと考えている。

総研における各分野の研究成果を「成果集」として記録し公表することにより、後進の司法書士が新たなテーマにおいて研究する場合の貴重な資料となり、あるいは新しい発見の契機となることを大いに期待するものである。

司法書士総合研究所設置期間と研究テーマを委嘱した登録研究員

常設研究部会

研究部会	主任研究員	主な研究テーマ
司法・司法書士制度研究部会	吉岡 大地 (兵庫県会)	地域における福祉連携と刑事政策への司法書士関与の提言～市民のための法律家制度として成長するために～
不動産登記制度研究部会	藤縄 雅啓 (埼玉会)	フランス・ノテールの役割から見る新型コロナ後の登記制度とその担い手
業務開発研究部会	石田 光曠 (京都会)	所有者不明土地問題の本質究明から専門家の新たな役割を見つけ出す研究
I T戦略研究部会	吉岡 淳一 (埼玉会)	I T・A I時代のコロナ禍実務対応の研究
憲法研究部会	白井 則邦 (千葉会)	憲法的視点からみるA I社会
家事事件研究部会	江尻 克維 (長野県会)	限定承認手続活用へのアプローチ

特別研究部会

研究部会	主任研究員	主な研究テーマ
商業登記制度研究部会	鈴木 龍介 (東京会)	商業登記制度の真実性向上のための一考察～登記に要する時間的側面からのアプローチ～

登録研究員、総研がテーマ委嘱した研究

登録研究員	指定研究テーマ
木曾 雄高 (札幌会)	弁護士法72条についての一考察 ～司法書士による遺産承継業務を中心に～
鹿島久実子 (東京会)	D V等の被害者への支援措置と司法書士業務のかかわり
永渕 圭一 (東京会)	会社法および商業登記法からみた合同会社をめぐる諸問題 － 法務局の定款記載例を題材として －
星 寛志 (東京会)	在留外国人に対する司法書士としての法律支援の現状と課題
山下 昭子	「前橋代書人盟約書」について

(東京会)	
酒井 恒雄 (神奈川県会)	「起業支援の再考と新たな視点」 ～キャリア選択と起業等の結びつき～
古久根章典 (埼玉会)	要件事実・ミニマムの原則－ a + b の原則－
山下 大樹 (千葉会)	商業登記の変遷と公告制度
嶋田 貴子 (栃木県会)	子どもの自己決定権と児童相談所の措置権についての一考察 －未成年後見における現場の視点から－
土井 万二 (大阪会)	ニューノーマル社会における司法書士の新しい執務様式
品川 峰範 (滋賀県会)	中国インターネット裁判所の紹介
宮城 直 (沖縄県会)	司法書士業務に関する Web アプリケーションの研究

司法書士総合研究所 研究プロジェクトチーム

報告者	指定研究テーマ
船橋 幹男 (所長)	報告書(その1) 相続登記(相続を原因とする不動産の所有権 移転登記)の場面の検証
須賀 淳治 (次長)	報告書(その2) 商業法人登記(役員変更登記)について(A I テクノロジーとの関連において)
山下 高広 (次長)	報告書(その3) 登記原因に関わる司法書士の役割の研究(I T/AI 編)

1 成年後見人が年に一度家庭裁判所に提出する財産目録

成年後見人（民法843条）が就任した後、年に一度提出する書類のうち、財産目録について、Web アプリケーションを作成してみることにしました。理由は、利用者が微調整することで可能な手続きは、利用者自身が行った方が良いと考えたからです。

1-1 制作過程

元々の知識は、Word に文字を打つことが出来る、Excel に数字入力することが出来る・SUM 関数¹が使える、です。どのような方法があるのか、そもそも Web アプリケーションはどのような仕組みになっているのか、というところから始めました。また時間の都合上、オンラインを含めてプログラミングスクールに通うという選択肢はありませんでした。手探りの中、python²というプログラム言語の Web アプリケーション開発のための Django³、その他の書籍を買ったり、主にエンジニアが集まるオンラインコミュニティに入っていました。それでも半年程、これで進めることが出来るという感触は得られませんでした。そんな中使ってみて、これなら可能かもしれないと感じたのが、glide⁴というエディタ⁵です。グーグルスプレッドシート⁶という Excel に似たような

図1 列AからZまで、行3から39まで同じような形

ソフトと連携してサービスを作成することが出来るようです。glide を利用して制作を進めていきました。最初に作るのは、情報の枠組みです。どのような表を作れば、glide というソフトが読み取ってくれて、変更が出来るのか、試しながら作っていきました。現状の設計では、最終形は図1のようになりました。列AからZまで利用したのは、その分入力する項目を増やすことが可能ということが理由です（実際は1行目の Column

¹ 2020年11月6日閲覧 マイクロソフトサポート SUM関数（足し算）

<https://support.microsoft.com/ja-jp/office/sum-%E9%96%A2%E6%95%B0-043e1c7d-7726-4e80-8f32-07b23e057f89>

² 2020年11月6日閲覧 初心者のためのPython <https://www.python.org/about/gettingstarted/>

³ 2020年11月6日閲覧 Djangoの概要（pythonのコードを使う箱）<https://docs.djangoproject.com/ja/3.1/intro/overview/>

⁴ 2020年11月6日閲覧 glideのHP <https://www.glideapps.com/>

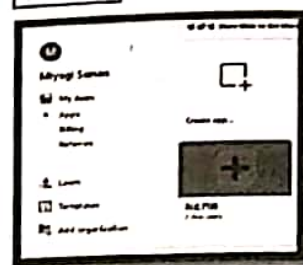
⁵ Wordやメモ帳などもテキストエディタと呼ばれるエディタ。<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%BF>

⁶ 2020年11月6日閲覧グーグルスプレッドシートについて「パワフルなスプレッドシートを作ろう」https://www.google.com/intl/ja_jp/sheets/about/

3 から Column 30 までの 27 項目が利用可能になっています。)。また 0 が並んでいる理由は、図 2 です。入力した情報の出力先である財産目録が同じシートに入っており、行番号 39 まで情報が入っています。このような場合、glide から入力した情報は、40 行目からしかグーグルスプレッドシートには反映されないようです。

図 2 行番号 39 まで情報が入っている。

図 3



Glide からの入力が反映されるグーグルスプレッドシートと反映された情報を当てはめる財産目録は分かりやすく印刷の際も便利なので、別のシートにしていました。しかし、そのような設計にすると、2 年目、3 年目に入力したときに、情報が更新されないことが分かりました。利用できる関数やグーグルアップスクリプト⁷を探してみましたが、見つけることが出来ませんでした。分かる方がいらしたら教えてください。情報の枠組みを作ることが出来たら、glide でアカウントを作成した後、グーグルスプレッドシートとの連携を行います(図 3)。必要な個所に入力したら、書式らしきものが出来ている、あるいは申請に必要な情報は揃っている状態になるように作られている、という考え方は、私たちが普段行っているコンピュータシステムを利用した登記申請の方法や、必要な添付情報の組み立て方の考え方に似ている面があるなと感じました。次に、アプリのタイトルや入力タブを整えていきます(図 4)。入力タブの設定のために、グーグルスプレッドシートでは、提出年月日をカラム(column) 3 等と定義して行きました。そして、財産目録中の値が入るセルには、`=INDIRECT("列名"&COUNTA(列名:列名))`という関数が入っています。INDIRECT("列名"で指定した列を参照、&COUNTA(列名:列名))で、列の中で行番号が一番大きなセルの値を参照します。1 年目は行番号 40 番に情報が記録され、2 年目は行番号 41 番に情報が記録される。`=INDIRECT("列名"&COUNTA(列名:列名))`が入っているセルは、1 年目は行番号 40 番の情報を参照し、2 年目

⁷ 2020 年 11 月 6 日閲覧 Apps Script (コードエディタ)
<https://developers.google.com/suite/aspects/appsscript?hl=ja>

は行番号41番の値を参照します。

図4



glide は、パソコンでも使えますが、スマートフォンから入力することも可能です。スマートフォンにグーグルドライブをインストールしておけば、入力から印刷（コンビニ）までスマートフォンで可能な点も glide を選んだ理由です。パソコン、プリンタを持っていない人を想定しています。また、商用・非商用を選択することも出来ます。利用したことはありませんが、商用にすると、アプリケーションの便利機能が増えたり、見た目や使いやすさが上がるようです。

1-2 テスト・利用実験

実際にアプリをインストールします（図5）。次にグーグルドライブを開ける状態にして、グーグルスプレッドシートをダウンロードや共有リンクなどで取得します（図6）。最初の画面を開いて、右上の+ボタンを押します（図7）スマートフォンから、アプリに必要事項を入力していきます（図8）。

図5



図6

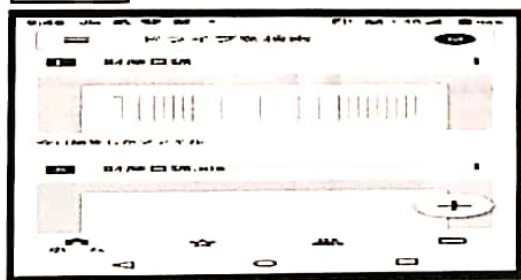


図 7

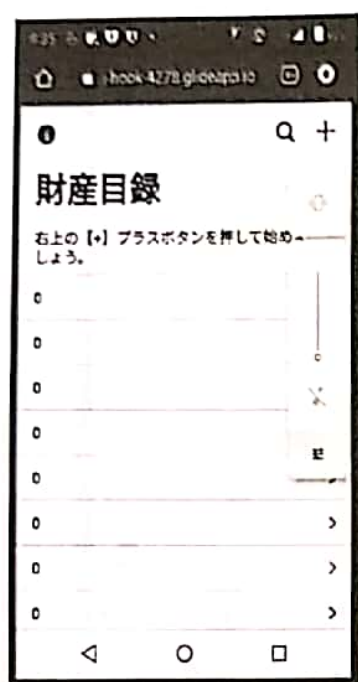
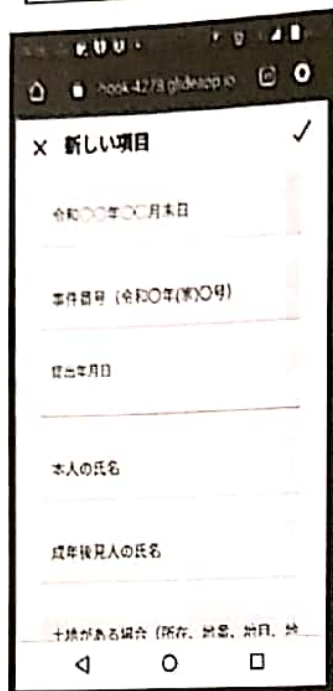


図 8



入力画面では、上に例文のようなものを付けました。出来るだけ分かりやすくしたつもりですが、改善事項があればご指導願います。入力が全て終わるか、途中でも終了するときは、右上のチェックマーク(✓)を押していったん終了します。入力が全て終了した後、グースプレッドシートに反映されているか確認します(図9、図10)。私は、普段の業務で行っている、官公庁などに提出する書類や情報についてを官公庁に提出する前に、自分の目でチェックすることに似ていると感じました。入力が確認出来た後は、印刷

に入ります。今回は、スマートフォンからコンビニの複合印刷機を利用して印刷してみます。試してみて分かったのですが、コンビニでの印刷方法には、色々な方法があるようです。

図 9

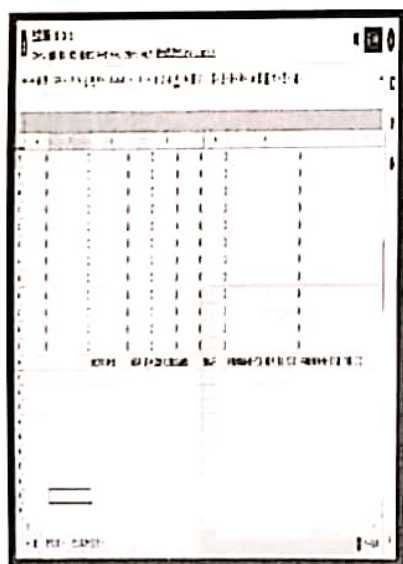
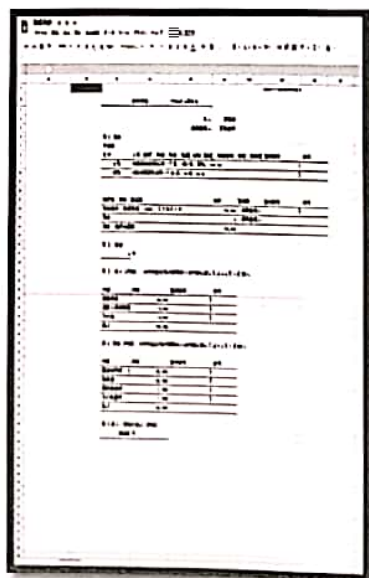


図 10



私が調べた限りでは、セブンイレブンが一番使いやすそうでした⁸。私は事務所から近いファミリーマートにアンドロイド(android)のスマートフォンを持って行きました。まずは、スマートフォンにネットワークプリント⁹というアプリをインストールします。次に、グースプレッドシートの印刷したい範囲を設定して、PDFファイルに変更。当初は、グースプレッドシート

でページ指定を行い印刷しようとしたのですが、出来ませんでした。この辺りの調整は、コ

⁸ 2020年11月6日閲覧セブンイレブンのマルチコピー機があなたのプリンターに。https://www.printing.ne.jp/index_P.html

⁹ 2020年11月6日閲覧コンビニプリントでテレワークを支援。https://networkprint.ne.jp/sharp_netprint/ja/top.aspx

コンビニにおいてあるマルチコピー機のメーカーや型式によって違うようです。印刷用のPDFファイルが出来たら、ネットワークプリントアプリの中に、PDFファイルを登録します（図11、12）。

図11

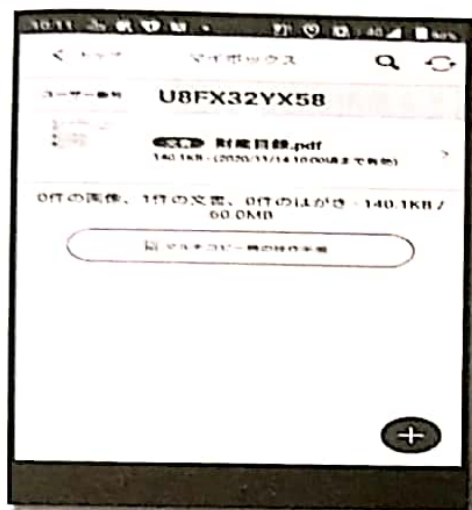
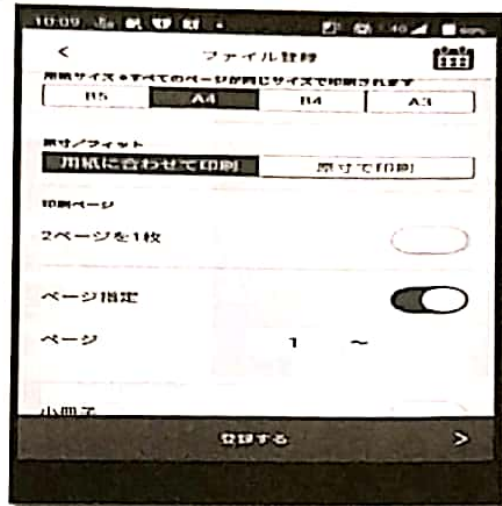


図12



ファミリーマートのマルチコピー機側の操作としては、スマートフォンで印刷、ネットワークプリント、という画面を押していきます。最後にユーザー番号（図11）を入力して、印刷開始です。印刷料金も必要です（図13、14、15）。印刷後です（図16）。

図13



図14

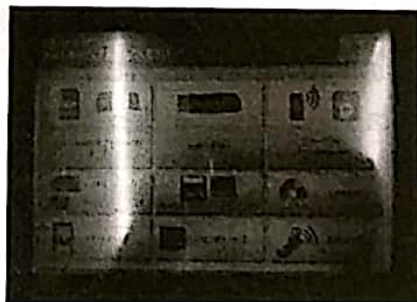
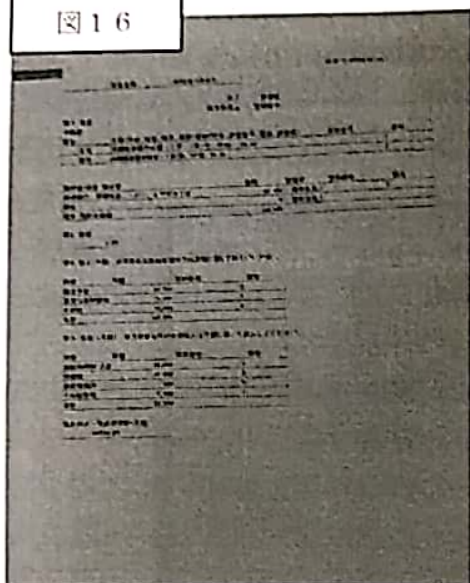


図15



図 1 6



1-3 改善点など

今回、glide というエディタを用いて、Web アプリケーション、スマートフォンアプリケーションを作成しました。glide の他に様々なエディタが提供されているようです¹⁰。

改善点

- ・財産目録しか作ることが出来なかった。
- ・箇条書きであれば、ワードで作成しているような文書（例えば後見事務報告書）なども作成することが出来る可能性がある。
- ・今回の機能に関していえば、glide を使わなくても、グーグルフォーム¹¹とグーグルスプレッドシートを連携させて、同じようなものを作ることが出来ることに

気付きました。違いは新しいグーグルフォームとグーグルスプレッドシートを使わないといけないことでしょうか。

- ・apple のスマートフォンではテストしていない。
- ・他にも連携できるツールがあると思うが、必要最小限な機能になっているか、分からない。作ってみて感じたこと
- ・ノーコード、ローコードといわれるものを使っていると、より本格的にプログラムが書けるようになりたいと思うことがある（実際に行動するのは別として）。
- ・ペーパーレス、ハンコレスと電子化の過渡期に、どちらにも対応できるものを自分の手で作れるのは良いのかなと感じました。
- ・文中でも何度か触れましたが、必要な情報から逆算して考えたり、確実さを求めるところは、司法書士業務との共通点があると感じました。
- ・利用方法としては、スマートフォンを持っていてパソコン、プリンタを持っていない人に対して、glide アプリとグーグルスプレッドシートを QR コードでダウンロードしてもらい、自身で保守・管理・運用してもらうことを想定しています。最初の方は使い方をその都度教えるという形になるかもしれません。

2 その他（新型コロナ対策サイト、Politylink）

2-1 新型コロナ対策サイト

令和 2 年の夏頃、沖縄県 COVID19 対策サイト（図 1 6）¹²のデータ更新に参加していました。そこでも、少し実践しながら勉強になったことがありました。サイトの後ろ側で行われていることをみたり、少し触らせてもらったりすることが出来たのは、良い経験だと感

¹⁰ 2020 年 11 月 6 日閲覧ノーコード、ローコードあれこれ https://qiita.com/kento_gm/items/34c46a9be6b3017c9345

¹¹ 2020 年 11 月 6 日閲覧アンケートなどを作成することが出来る。 https://www.google.com/intl/ja_jp/forms/about/

¹² このサイトは、沖縄県が作成したサイトではなく、民間のエンジニアなどが沖縄県よりも先に作成しました。 <https://ok.inawa.stopcovid19.jp/>

じます。

CSVデータ(図17)やgithub¹³(図18),pdfファイルから必要な情報を取り出して、グースプレッドシート(図19)に自動でまとめる方法¹⁴などが公開されていて、誰でも触ることが出来ます(触ったものが採用されるかは別です)。少なくともみることは出来ます。

図16

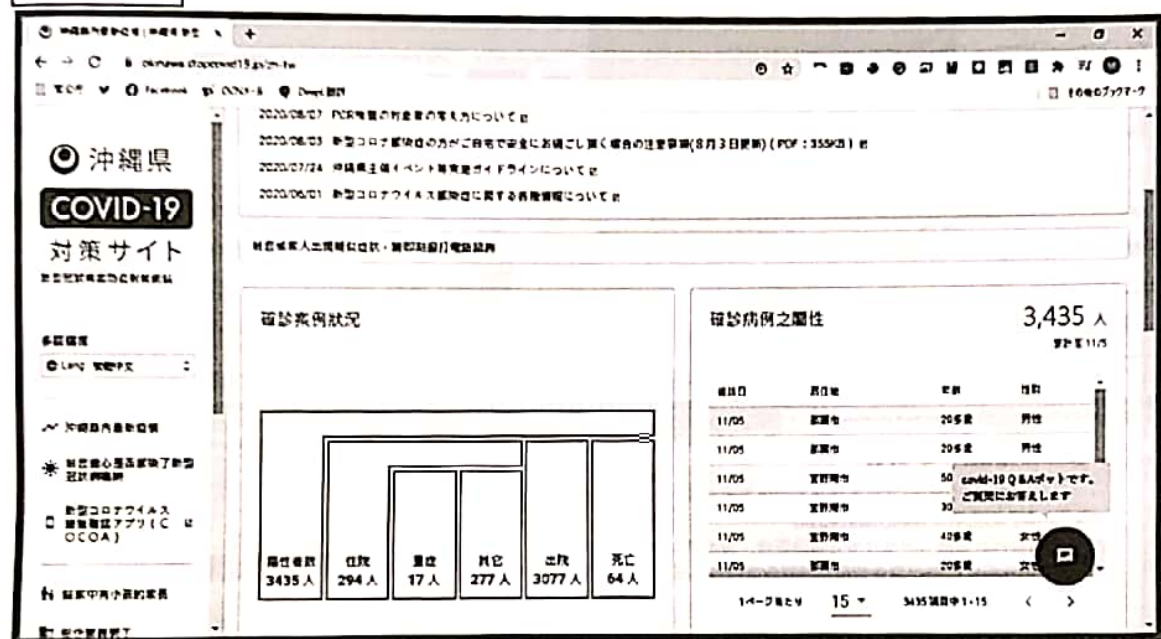


図17

図17は、Google Sheetのスクリーンショットで、COVID-19の症例データをまとめた表が示されています。表のヘッダーには「日付」、「居住地」、「性別」、「年齢」などの項目が見えます。表には多くの行があり、各症例の詳細が記録されています。

¹³ 2020年11月6日閲覧 <https://github.com/Code-for-OKINAWA/covid19>
¹⁴ 2020年11月6日閲覧 https://github.com/Code-for-OKINAWA/covid19-pdf-parser/blob/master/auto_parser.py

図 18

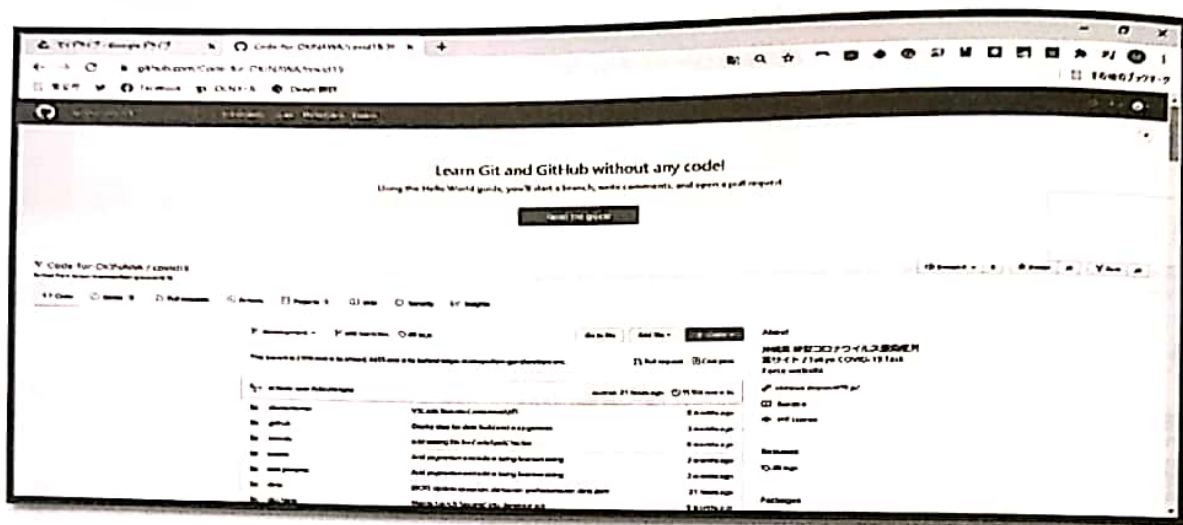
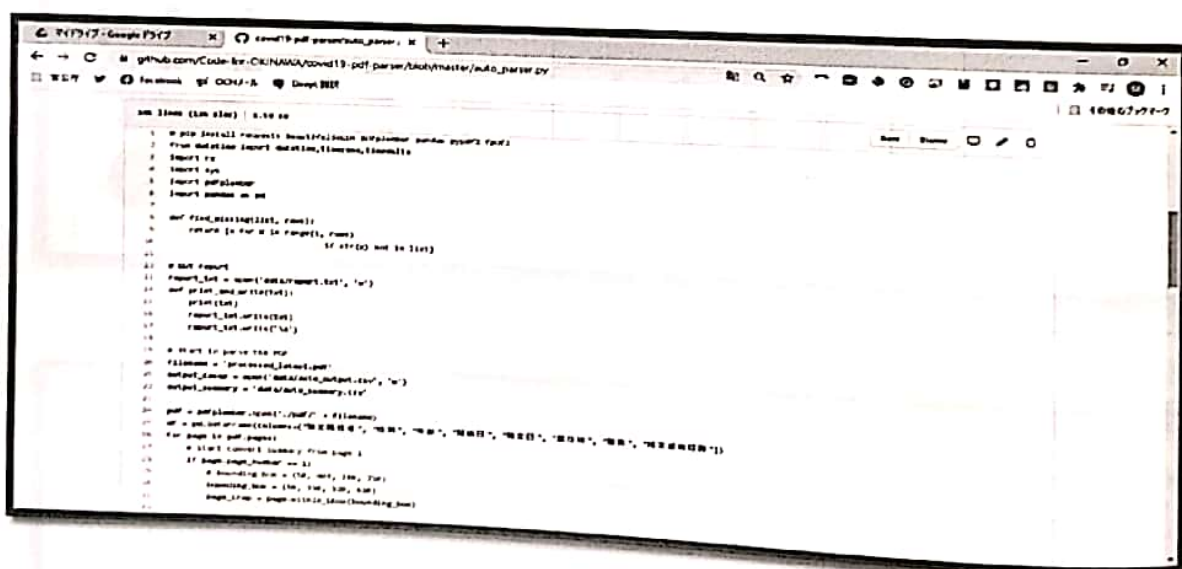


図 19



2-2 Politylink

(一社) Code for Japan の Social Hack Day で一緒になって、法令の施行日が気になる等の意見や、データの打ち込みなど少しだけ関わらせて頂いています。良い取り組みだと考え紹介させていただきます。

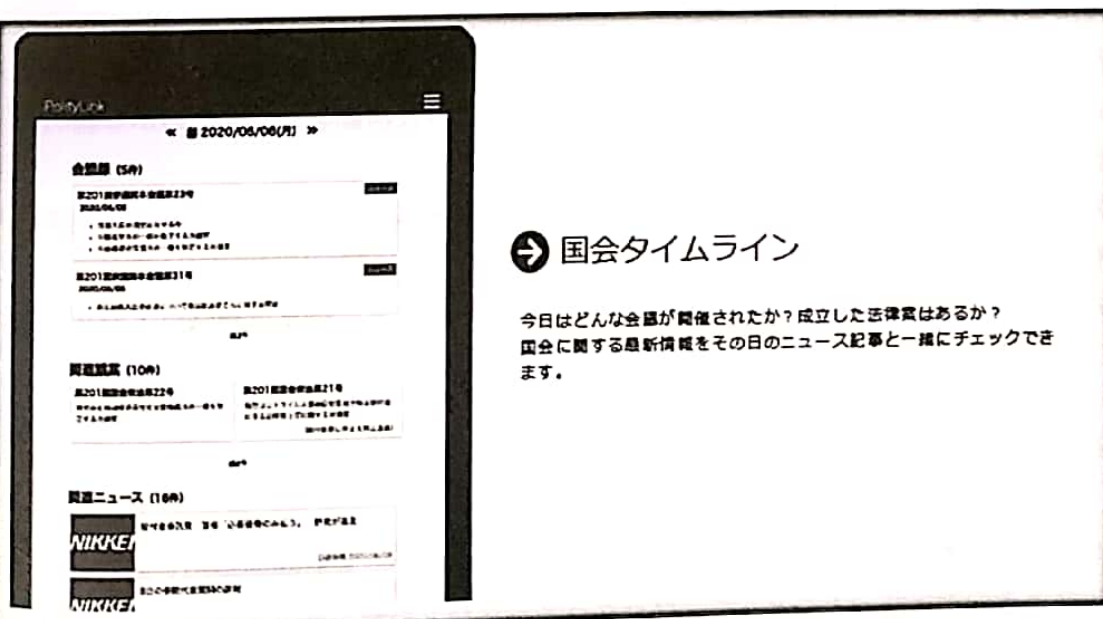
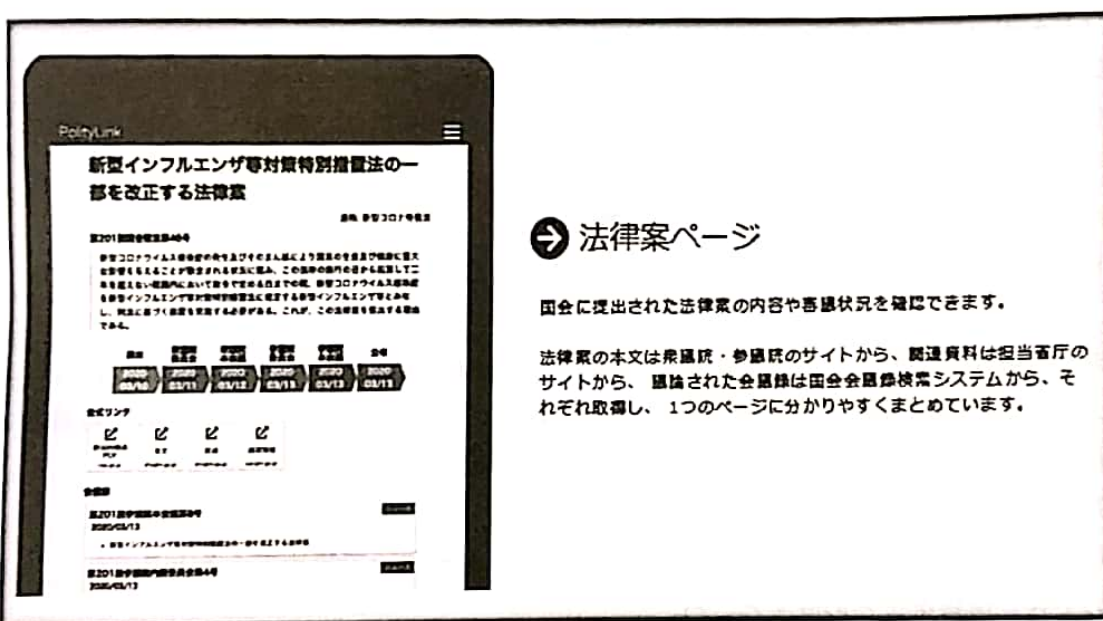
・経歴

薄井光生が大学時代の友人と一緒に開発している情報系を専攻しているエンジニアで、政治や法律などとはそれまで接点が全く無かつた。

・PolityLink (<https://politylink.jp>) について

PolityLink (ポリティリンク) は政治の「原文」へのポータルサイトです。私たち国民

が、政治に関する「正確」で「中立」な情報に簡単にアクセスできるように、国会や行政機関の公式サイトに散らばった情報を、互いに関連付けてまとめ直しています。



・開発のきっかけ

政治について知りたいと思う機会が時々あったが（選挙時、#検察庁法改正案に反対しますなど）、どこから正確な情報を得れば良いのか分からないという悩みを持っていた。新聞やニュースなども見たが、切り取られているため背景知識がないと理解が難しい、知りたい情報がそもそもニュースになっていない場合があるなどの問題があった。そこで、国会の情報がそもそもニュースになっていない場合があるなどの問題があった。そこで、国会や各省庁が公開している公式の情報ならこれらの問題が解決できるのではと思い調べてみると、情報自体はオンラインでも公開されていることが分かったが、必要な情報が様々なサイトに散らばっていてアクセスが難しいことが分かった。これらの散らばった情報をまとめ、簡単にアクセスできるようにすれば、政治についてもっと知ることができるのではないかと考えた。

・作ってよかったこと

第203回国会を国会タイムライン機能を使って並走してみて、国会で何が起こっているのかリアルタイムに把握することができた。これはPolityLinkが無かった今まではできなかったこと。

ニュースのみを見ていた今までは法律案が急に成立したように見えた。PolityLinkがあれば、成立までの過程（趣旨説明、審議、委員会での可決）が把握できているので、納得できる。

今までは物議をかもした法律案しか見えなかった（検察庁法改正案、育苗法改正案）。PolityLinkは網羅性があり、ニュースや話題にならないような法律案に関しても、各省庁が出している概要PDFを見れば簡単に理解でき、把握できる

・苦労したこと

散らばっているデータソースを様々なサイトからクローラーで集めてくるところ
集めてきた情報をまとめ直すところ。

例えば全く同じ名前の法律案があると難しい。

・今後について

それぞれの国会議員の基本情報と国会での発言データをまとめ、議員ページとして公開したい。選挙の際に、現職の議員が過去の国会でどのような活動をしてきたのか客観的に分かるようなページにしたい。

技術的に難しいそうではあるが、国会審議のリアルタイム文字起こしや自動要約生成などにもチャレンジしてみたい。

公式の情報が公開されるまではタイムラグがあることがある。例えば衆議院本会議の議事録は1ヶ月以上経っても公開されていない。

3 今後に向けて

3-1 触ってみる、作ってみる。

テレビ電話会議の普及、ペーパーレス、ハンコレスの中で、もし時間を少し開けることが出来たときの選択肢の1つとして、プログラミングなどを触ってみるのも良いのかなど

感じます。他にもあえて対面営業を行ったり、専門分野を深く勉強して論文にまとめたり、苦手な分野を集中して勉強するのも大切だと思うので、あくまで選択肢の1つとして一緒に勉強・実装できる仲間が増えると嬉しいかなと思います。

3-2 試してみる、分からないことがあったとき、訊ける場所に入っておく。

作って見たら試してみる、駄目だったら改善する、そもそもその機能が必要なのか考えてみる、難しく考え過ぎていないか訊いてみる、というところは、専門家の知恵を借りたいところです。最寄りのプログラミングスクールを始めとして、オンライン上でも様々なサービスが提供されているようなので、一度入ってみて合わなかったら退会する、というぐらいの軽いスタンスでも入っておくのは有効だと感じます。私は、書籍とグーグル検索で1日かかってしまったことがありました。

令和2年度 司法書士総合研究所 成果集

日本司法書士会連合会 司法書士総合研究所

発行日：2021年3月

無断転載，複製を禁じます。